



みなさんこんばんわ！

本日、NPO法人柔道教育ソリダリティーの会員の皆様に、これまでいただいたサポートに対し御礼を申し上げる機会をいただいたことに、心から御礼申し上げます。

まずはじめに、無名のアフガニスタンから来た一選手のために、このような世界的なレベルの練習ができる東海大学柔道部で強化練習をさせていただいたことに対し、NPOの皆様へ心から御礼を申し上げます。特に、山下泰裕先生、光本建次先生、中西英敏先生には、心の底から御礼を申し上げます。

先ほども申し上げましたが、名もないアフガニスタンの一選手が国際レベルの練習環境をいただき、講道館の初段を取得することができました。アフガニスタンの女性柔道家として初めての講道館初段です。このようなチャレンジができたのも、素晴らしい国、日本に来ることができたのも、NPOの会員みなさんや事務局のみなさんのお陰です。

そして、私を根気よくサポートして下さった、柔道部のみなさん、トレーナーのみなさん、本当にありがとうございました。次に、少しアフガニスタンの柔道事情をお話しさせて下さい。

実はアフガニスタン柔道連盟は私をアフガニスタンからのオリンピック選手として推薦しませんでした。このことは大変私を傷つけました。これまで私はアフガニスタンを代表してオリンピックに出ることで、社会的にたいへん身分が低く扱われ、アフガニスタン社会の底辺でひっそりと生きている、多くのアフガニスタンの女性アスリートを勇気づけられると思っていたからです。

これは、アフガニスタン柔道連盟とアフガニスタンオリンピック委員会が非常にアンフェアで最悪な決定をしたことにつきます。ロンドン五輪へ出場できなかったニュースが届いたのは最愛の母の死を知らせる電話の直前の事でした。この二つのニュースは私にとって非常にショックなことでした。

しかし、私は日本の友人やNPOのみなさんに励まされ、乗り越えることができました。

最後に、みなさんにお願いです。アフガニスタンの女性アスリートたちは自分たちの国に夢と希望を持ちたいと毎日、一生懸命練習に励んでいます。これからもどうぞアフガニスタンの女性アスリートのサポートを宜しくお願いいたします。本当に今日はありがとうございました。

I love Japan!!